

第 2 回 材料研究会および JT-60SA 見学会のご案内

近年、加速器の分野では LHC の物理学への貢献が高いことから、CERN では次世代の大型加速器に向けて概念設計研究を開始し、核融合の分野では原型炉建設に向けて、ITER 計画と合わせて幅広いアプローチ活動を実施しています。さらに、NbTi 線を用いて開発、市販された瞬低用 SMES に替わって、水素利用による電力貯蔵 SMES の研究開発が進められ、様々な分野で新たな付加価値のある超電導システム開発に向けた動きが始まっています。本研究会では、上記の超電導システムに共通な超電導コイルに関連して講師の先生方に講演していただきます。また、幅広いアプローチ活動の一環として ITER 支援・補完を目的に建設中の JT-60SA の見学会を合わせて開催致します。JT-60SA に設置している超電導マグネットを見学する最後の機会かと思われます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ：大型コイル用線材開発及びコイル化技術

日 時：2017 年 10 月 27 日（金）13:00～17:10

場 所：〒311-0193 茨城県那珂市向山 801-1 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
那珂核融合研究所 制御棟 2 階 大会議室

交通案内：<http://www.fusion.qst.go.jp/naka/introduction1/access.html>

JR 常磐線 上野駅～東海駅 約 90 分（特急）：JR 特急ひたち 9 号・いわき行 東海駅 12:18 着

マイクロバス：東海駅⇄那珂研究所（当日、マイクロバスを手配しました。）

東海駅西口（集合時間 12：30）→那珂研究所、那珂研究所（研究会終了次第）→東海駅西口

タクシー利用：東海駅西口（約 4 km） 約 10 分

車：車での来所も可能

参加費（資料代）：2,000 円（どなたでも自由に参加できます）

プログラム

開会の挨拶	材料研究会委員長 …………… 13:00～13:05
1. 次世代加速器の開発および高温超電導の可能性	土屋清澄（KEK） …………… 13:05～13:50
2. JT-60SA の概要説明	木津 要（QST） …………… 13:50～14:20
3. JT-60SA 見学会	ヘリウム圧縮機棟・冷凍機室 …………… 14:30～14:40
	超伝導コイル巻線棟 …………… 14:45～14:55
	JT-60 実験棟本体室 …………… 15:00～15:30
休 憩 15:30～15:40	
4. Nb ₃ Al 線材開発における NIMS の役割	菊池章弘（NIMS） …………… 15:40～16:25
5. MgB ₂ 燃線を用いた先進超伝導電力変換システム用 SMES コイルの開発	新富孝和（KEK） …………… 16:25～17:10
閉 会……………	17:10

オーガナイザー：中村 一也（上智大学）、一瀬 中（電力中央研究所）

問い合わせ先：上智大学・中村一也 E-mail: k.nakamura@sophia.ac.jp Tel:03-3238-3326

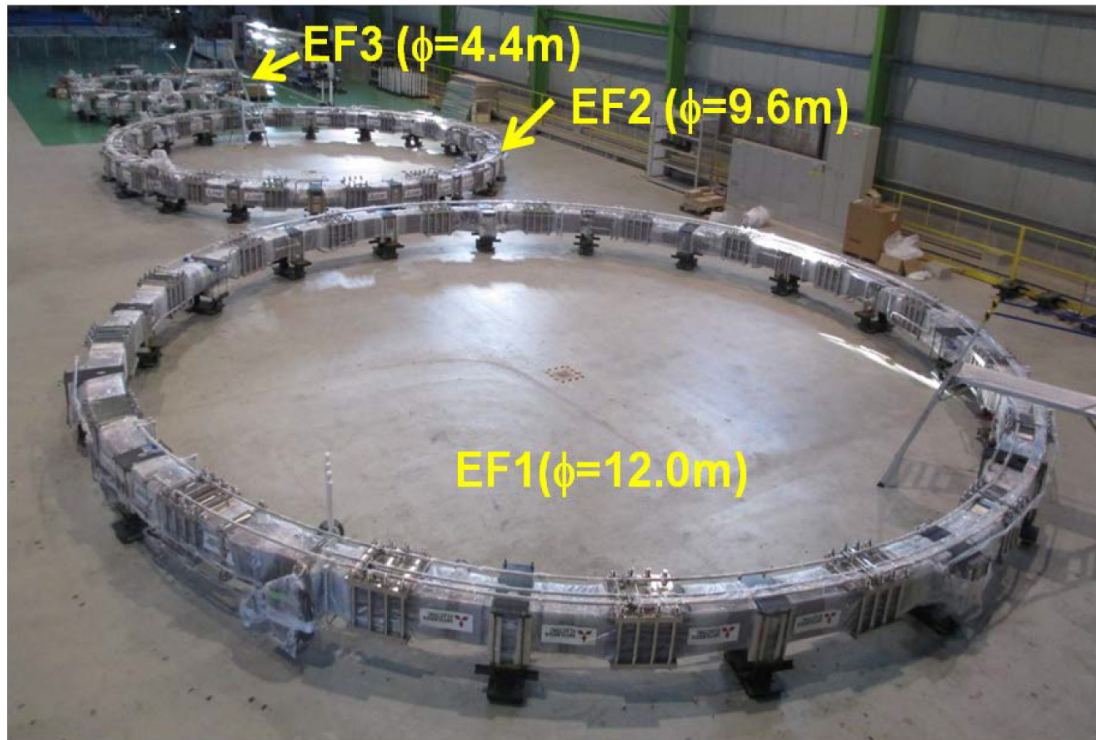
①参加者氏名、②所属、③電話・E-mail、④マイクロバス利用の有無を 2017 年 10 月 13 日（金）までにご連絡ください。

次ページ：JT-60SA の現状の写真（見学は 10 月時点のコイルの状態となります。）

JT-60SA の現状



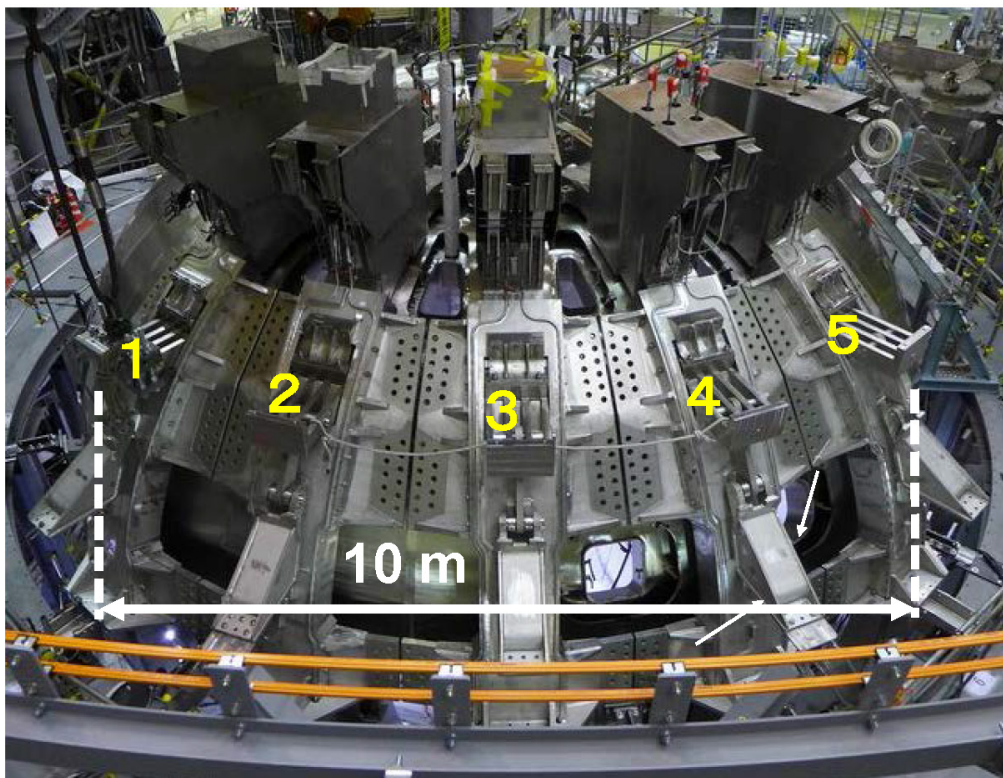
EFコイル



0



TFコイル



1